



平成28年6月29日

平成27年度第2回高等学校卒業程度認定試験問題の訂正について

平成27年11月8日（日）に実施した平成27年度第2回高等学校卒業程度認定試験「日本史B」の問題について、下記のとおり誤りがあることが判明しましたので、お知らせいたします。

なお、正答を選択することに影響を与えるものではないため、得点調整は実施しません。

受験者各位及び関係者の皆様には御迷惑をおかけし、誠に申し訳ありませんでした。

科目	大問	ページ	内容	措置
日本史B	4	39	生徒の研究発表 岩倉使節団ルート図中の出発日 誤：1871.1.12 出発 正：1871.11.12 出発	試験実施後に誤りが判明しましたが、 <u>正答を選択すること</u> <u>に影響を与えるものではない</u> <u>ため、得点調整は実施しませ</u> <u>ん。</u>

<担当>生涯学習政策局生涯学習推進課

課長補佐 高木 貴 (内線3721)

認定試験第一係長 稲田 幸昌 (内線3267)

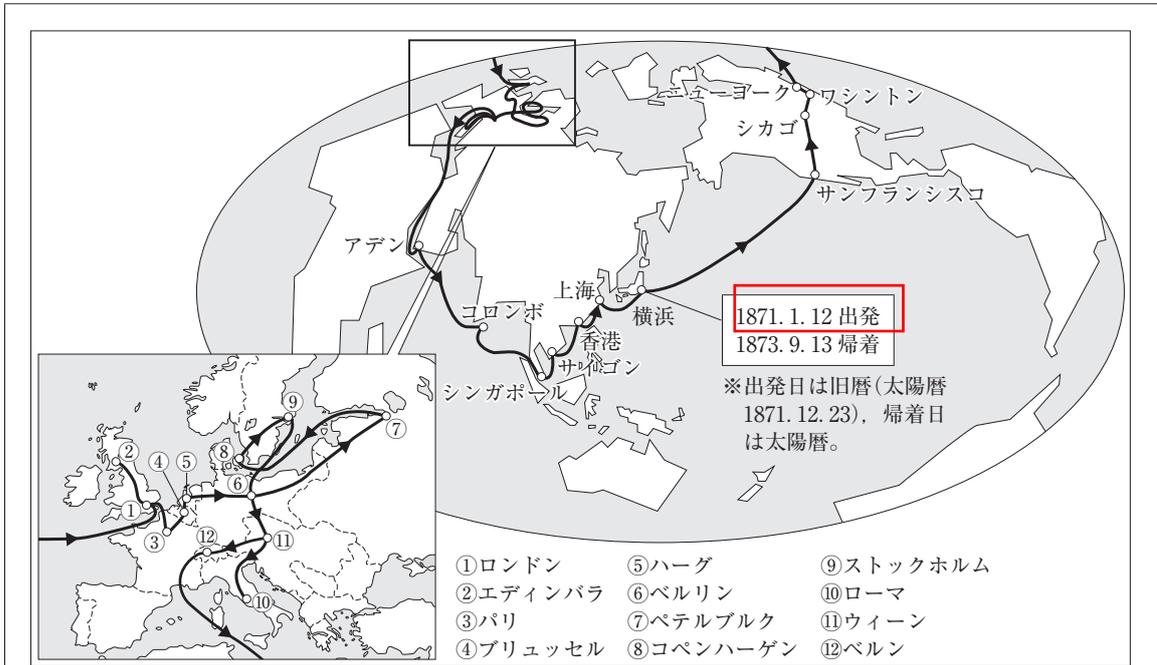
電話：03-5253-4111 (代表)

03-6734-3267 (直通)

4

次の岩倉使節団についての生徒の研究発表をみて、後にある各問いに答えよ。

生徒の研究発表



これは、岩倉使節団のルート図です。この目的は、と、西洋文明の視察で、彼らの多くにとって初めて触れる西洋の文明は驚きの連続でした。

最初の訪問国であるのホテルで受けた驚きを「大鏡は水のように、カーペットは花のように、天井からは宝石かと思間違ふほどのビードロのシャンデリアがぶらさがり…」と、久米邦武が使節団の見聞記録である『米欧回覧実記』に記しています。

イギリスでは、日本と同じような島国のこの国がなぜ大帝へへのぼりつめることができたのか、産業革命の実態を目の当たりにし「イギリスが富ゆたかな国である理由(a)がとてよく分かった」と大久保利通は本国にいる西郷隆盛への手紙に記しています。

フランスではフランス革命以降の混乱を目にし、伝統ある社会での共和政の難しさを「独立自由も三権分立も、よほど用心してかからないと大変なことになる」と木戸孝允は日記に記しています。

ドイツでは「世界はみな親睦礼儀をもって接しているように見えるが、それは全く表面上のことで、内面では強弱相凌しのぎ、大が小を侮あなどるとというのが実情である」という鉄血宰相ビスマルクの言葉に、伊藤博文をはじめとした一行は強い衝撃を受けています。

この明治初期(b)に派遣された使節団が帰国した後、日本の近代化が成し遂げられていったことを考えると、西洋文明の視察は大きな成果を得たと私は考えています。

問 1 に当てはまる語句の組合せとして適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

- ① A—条約改正の予備交渉 B—アメリカ
- ② A—条約改正の予備交渉 B—中 国
- ③ A—連合国との和平交渉 B—アメリカ
- ④ A—連合国との和平交渉 B—中 国

問 2 下線部分^(a)イギリスが富かな国である理由に関する大久保の理解について、次の資料(意識してある)を読んで、 に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 。

イギリスは船を世界中で航行させ、各地の資源を買い入れて自国に持ち込み、鉄や炭の力を活用して工業製品として、再び各国に輸出して売り与える…(中略)…他の欧米列国は、その工業製品の基礎となる部品をイギリスの市場で買い求めるのである。

(『米欧回覧実記』)

大久保の理解

イギリスは工業と によって世界の強国となっている。日本もそれを見習い、 で原料を確保し、工場で製品に加工したものを売り、利益をあげるのだ。そのためには を急いで進めなくてはならない。

- ① C—資源開発 D—殖産興業 ② C—資源開発 D—兵制改革
- ③ C—貿 易 D—殖産興業 ④ C—貿 易 D—兵制改革

問 3 岩倉使節団に参加した人物と、その人物が受けた印象が読み取れる文の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 18。

人 物 ア 西郷隆盛

イ 木戸孝允

印 象 ウ 豪華^{けんらん}絢爛なホテルに驚きながらも日本の文化に誇りを感じている。

エ 共和政が日本にスムーズに適応する可能性には疑問を感じている。

① アーウ

② アーエ

③ イーウ

④ イーエ

問 4 下線部分^(b)明治初期におきたできごとを年代の古い順に正しく並べたものを、下の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 19。

ア 国会開設の勅諭が出された

イ 五箇条の誓文が出された

ウ 日朝修好条規が結ばれた

① ア→イ→ウ

② ア→ウ→イ

③ イ→ア→ウ

④ イ→ウ→ア

問 5 生徒の研究発表から読み取れることとして適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。解答番号は 20。

① 西洋諸国との文化や技術の違いに団員たちは驚き、全てを絶賛して参考にしようとしている。

② 西洋視察の内容は政治・経済・外交など多岐にわたり、団員は様々な形で記録に残している。

③ 西洋列強は、みな心の底から親睦礼儀をもって諸国と接し、近代的な国際関係を築いている。

④ 西洋文明視察という目的から、使節団はアジアやアフリカには一切立ち寄らなかった。